

あいりん地域まちづくり会議にかかる第9回「駅前活性化検討会議」及び  
西成特区構想エリアマネジメント協議会第8回「地域活性化交流・観光専門部会」、  
「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨

1 日時 令和2年7月29日（水）午前10時30分から午後0時00分

2 場所 西成区役所 4階4－6会議室

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司

大阪市立大学教授 水内俊雄

（大阪市）

三代西成区役所総合企画担当課長、鈴木西成区役所地域支援担当課長、

原事業調整担当課長、木下都市計画局開発調整部地域開発担当課長

（地域メンバー）

大倉萩之茶屋第3町会長（大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長）、

福永萩之茶屋連合振興町会女性部長、山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合相談役、

村井西成区商店会連盟会長、西口大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

4 議題

(1) 前回までの議論の振り返りと現状について

(2) 多目的オープンスペースの活用方法等について

(3) その他

5 議事要旨

(1) 新今宮駅北側まちづくりビジョン（素案）に対するパブリック・コメントについて

(2) あいりん総合センター跡地の活用方法について議論

(3) 意見等の概要

・にぎわいのエリアに関するコスト（賃料）は、住民の福利の実現に必要なコストとの  
相関関係において議論されるべきである。

・あいりん総合センター跡地において、萩之茶屋小学校が有していた防災機能の代替  
機能を確保してほしい。

・オープンスペースは、単純にアスファルト舗装等を施した上で上下水道などのイン  
フラを整備し、自由に利用させるべきである。

・住民の福利の要素は、あいりん総合センター跡地のみならず、周辺も含めて検討す

るため、にぎわいの要素や労働の要素と同じスピードで検討を行うのは困難である。

#### (4) 今後の対応

オープンスペースの活用手法などについて、もう一步踏み込んだ議論を行うとともに、にぎわいの要素における収益の仕組みなどについて検討を行う。

## 6 会議資料

- 配付資料1 あいりん地域まちづくり会議にかかる第8回「駅前活性化検討会議」及び西成特区構想エリアマネジメント協議会第7回「地域活性化交流・観光専門部会」、「まちづくりハウジング専門部会」議事要旨(案)
- 配付資料2 あいりん総合センター跡地等利用イメージ
- 配付資料3 あいりん総合センター跡地面積
- 配付資料4 ありむら氏作「道の駅」構想
- 配付資料5 オープンスペース活用事例集